

第4回国立市南部地域整備基本計画の策定に伴う 市民討議会実行委員会記録（要旨）

日 時：平成20年12月3日（水）午後6時00分～午後9時15分

場 所：市役所3階 第3会議室

出席委員：6名

欠席委員：3名

傍 聴：なし

事務局：3名

会議資料：会議次第

1. 開会挨拶（小林委員長）

- ・お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

2. 第3回実行委員会議事録の確認

- ・事前に送付した第3回実行委員会議事録について、昨日までに事務局へ追加や修正等の意見がなかったため、改めて意見を伺ったところ特に意見もなく、送付されたとおりで了解された。

3. 市民討議会の準備について

- ・テーマの選定に先立ち、地区説明会で出された意見の分類を行った。
- ・作業の進め方は次のように確認された。
 - ① 事務局が予め用意した地区説明会の意見カード（266枚）について、意見のテーマ（道路、都市計画、財政、緑の保全等）にあわせて大きく分類する。
 - ② 大分類のタイトルをつけ、さらに中分類、小分類を行う。
 - ③ 出席者全員で大分類を行い、中、小分類は3名で行う。なお個人の恣意を排除するため、必ず複数で話し合い、理由を明らかにしながら分類することとする。
 - ④ 分類した後に分類の内容と感じたことを発表しあい、皆でチェックする。
 - ⑤ タイトルだけを抽出し、それぞれのグループがどのような関係になるか、共通や対立の構図を明らかにする。

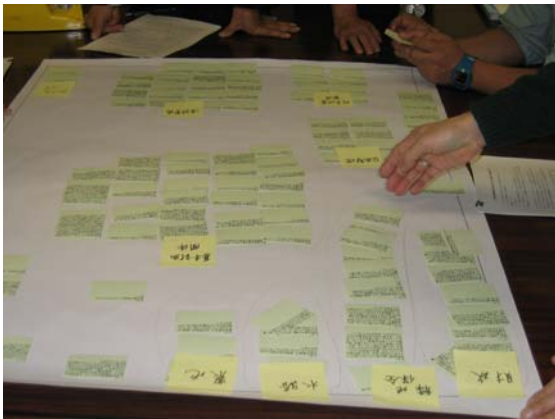
【作業の様子】



▲大分類作業



▲大分類作業



▲大分類にタイトルをつける



▲2組にわかれて中、小分類に進む



▲分類結果を分析し発表

【分類後の主なご意見】

大分類「基本計画」について

- ・ 中分類として、疑問、要望、主張に分けられたが、まとまりがあるように見えて実は統一性がないように感じた。要望としてまとめた中には優先順位のこと、実現性のことなどの意見があった。主張としてまとめた意見はいずれも個人的見解に見受けられた。
- ・ 疑問や要望の背景には計画実行に対する不安、不満ということがあるのではないか。

- ・計画の作成に関する意見として、市の主導を求める意見と、市民主導を求める意見とがあり、その部分では意見の対立が見えた。
- ・抽象的な意見が多く、分類が難しかった。一つ一つの意見の違いが大きく、小分類が進まなかった。
- ・計画が遅れていることや部分的対応によって計画性がないことなど、これまでのまちづくりに対する市への不満が表れているように感じた。
- ・意見で使われている言葉の裏側に、新たな住民と古くからの住民との違いが感じとれる。
- ・不満だけでなく、どのように生活が変わるのかといった不安も見え隠れしている。自分たちで決めたい、あまり触れてほしくない、という意見もある。
- ・地元の古くから住んでいる人の意見が多いように感じる。新たな人は現在の計画自体を知らないし、意見として出ているようなことは考えていないように思える。
- ・何故このような意見を言うのか、その背景には長い歴史の中で積み重なってきた「思い」があると思うので、市民討議会で議論する場合でもその「思い」を拾いあげる必要がある。

大分類「道路」について

- ・中分類として、都市計画道路、甲州街道、狭あい道路、セットバック、に分けた。「道路」は「基本計画」より生活に密着したものであるため、賛否や進捗に対する不満など明確に表れている。
- ・作業をしてみて感じたことは、意見の背景を分析していくと計画への賛否よりもさらに地域の人々が生活不便を感じていることが読み取れた。
- ・「道路」という大きなくくりでは、推進、反対、改善という3つにわかれてしまうが、さらに分析を進めて地域の具体的な問題として見たときにある程度意見の分類ができた。小分類とした都市計画道路については賛否のほかに市民参画を求める声がある。同様に、甲州街道については歩道の狭さ改善に意見が統一されている。狭あい道路については反対意見は無く整備を求める意見で一致している。市民は身近な道路に問題意識があることがわかる。セットバックについては狭あい道路整備と関係が深い、未完であることに対する不満が大きい。
- ・住民の切実な声が現れているように感じる。従って市民討議会のテーマとして取り上げるときに「南部地域の人々の生活」という視点が大事になる。我々の意見を聞いてくれという意見が多いということは、我々の生活は我々にしかわからないという気持ちがあるのではないか。

次回の進め方について

- ・引き続き中、小分類を行う。その後、タイトルのみ付箋紙に抽出して関係関係を分

析する。

- ・ 相関図はデジタルデータにするが、作業の成果はこのまま保存し、いつでも個々の意見を振り返るようにしておく。また、市民討議会当日には市民の方に見ていただけるように掲示する。
- ・ 相関図を見ながら、市民討議会でどういう話し合いをしてほしいかのテーマを絞り込み、次いでどういった情報提供をしたらよいかという情報提供者の選定を進める。例えば区画整理については、区画整理により問題を解決するという立場の方と区画整理には問題があるという立場の方から情報提供を受け、どうしたら良いかを市民の皆さんに考えていただくといった組み立てを行う。その場合、情報提供者は市外の方が望ましい。

4. その他

- ① 第5回実行委員会を12月15日（月）午後7時から、第6回実行委員会を12月16日（火）午後7時から開催することで確認された。
- ② 事務局から、第3回実行委員会で無作為抽出についての審議を願ったところであるが、事務局の判断として無作為抽出の対象者は国立市に住民登録又は外国人登録している方を対象とすることを報告し、了解された。

以上